

Crohn 病に対する新しい治療の位置づけについて、形態診断学の進んでいる本邦でしかできない、“臨床経過が追えた症例で形態学的な側面から解析する”という企画が生まれ、座談会を含め非常に読みごたえのある特集号ができあがった。

まず、笹田らによる文献 review で概略が示され、小林らが栄養療法が薬物療法よりも腸管外合併症進展阻止や外科手術回避に対して有用であるというデータを示している。患者の食生活などの QOL をどこまで考慮するかで栄養療法に関しては様々な考え方があるが、病態に応じて積極的に行うべき治療法であろう。次に、最近保険適応に通った抗 TNF- α 抗体 (infliximab) の臨床成績が示され、その効果について、中野らは縦走潰瘍治療過程で腸管の狭細化・短縮があまり顕著でない特徴を示し、松本らは臨床的活動性のみならず活動性病変や内瘻に有効であるもののその効果が短期

間にとどまることを画像所見を示しながら詳しく解説している。また、岩男らは免疫抑制剤の臨床効果と安全性について述べ、松井らは白血球除去療法が小腸病変には有効性が低いが大腸病変には有効性が高いことを示し、Crohn 病に対する白血球除去療法の選択基準を示した。さらに、長谷川らによって、Crohn 病に対する腹腔鏡下手術の成績も述べられている。

美しい画像所見をふまえた最新の臨床データが解説されたこれら主題論文と古賀らの症例報告に加え、本邦を代表する炎症性腸疾患領域の権威ある先生方による Crohn 病治療の細部にわたる内容を網羅した座談会は読みごたえがある。多くの臨床経験をもとに欧米文献の評価もふまえて行われたこの座談会の内容は、日常臨床で Crohn 病の診療に携わっている先生方のお役に立つものであり、必読である。

胃と腸

3月号 (第39巻・第3号) 予告

発売予定

3月25日

定価

2,520円

主題/胃 MALT リンパ腫—除菌治療後の経過と予後

序説	胃 MALT リンパ腫—除菌治療後の経過と予後…………… 仙台厚生病院・消化器内視鏡センター	長 南 明 道
主 題	胃原発 B 細胞性リンパ腫の治療と予後	
	—MALT リンパ腫の治療戦略を中心に…………… 九州大学医学部・病態機能内科	中村昌太郎・他
	胃 MALT リンパ腫除菌後の長期経過と予後	
	—内視鏡像を中心に…………… 東北大学医学部・消化器内科	大 楽 尚弘・他
	胃 MALT リンパ腫除菌治療後の長期経過と予後	
	—t(11; 18)(q21; q21)転座と EUS を中心に…………… 愛知県がんセンター・消化器内科	中村 常哉・他
	胃 MALT リンパ腫の除菌後の経過と分子基盤	
	—病理の立場から…………… 岡山大学大学院医歯学総合研究科・病理・病態学	吉 野 正・他
	胃 MALT リンパ腫除菌治療後のサーベイランス	
	—発生と進展からみて…………… 国立がんセンター中央病院・内視鏡部	江口 貴子・他
	除菌無効胃 MALT リンパ腫の治療法の選択とその時期…………… 京都大学医学部・消化器内科	千 葉 勉
主題症例	胃 MALT リンパ腫に対する <i>H. pylori</i> 除菌治療後に diffuse large B-cell lymphoma が出現した 1 例…………… 広島大学大学院医歯学総合研究科・分子病態制御内科	福本 晃・他

胃と腸 (第39巻 第2号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2004 年 2 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 2,520 円 (本体 2,400 円 + 税 5%)

2004 年年きめ予約講読料 35,010 円

(増刊号 5,775 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

・JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 飯村・山中・渡辺・小松原